

基本構想



丸森町

MARUMORI TOWN
TOHOKU, JAPAN

6th

Comprehensive Plan

2025 ▶ 2034

1 / はじめに

様々な現状や課題、本町を取り巻く社会情勢などを「序論」でまとめました。

しかし、過去から未来を思い描くだけでは、人口減少という構造的課題の最中にある本町にとって、本質的な課題解決に結びつかない可能性が高いといえます。

どのような問題が起こるかわからない時代だからこそ、「こうしたい」という確固たる理念を先に掲げることが大切であると考えました。

そこで、「基本構想」では、10年後の町を目指すべき将来像(理念)を描き、将来像の実現に向けた考え方(指針)を定めることとしました。

10年後の丸森町はどうありたいのか、共感が協力を呼び、共有が仲間を作ることを信じて、こどもや孫に私たちのふるさと・丸森を残すためのビジョンをここに示します。

【これまで】

解決すべき課題があって、課題を解決するための行動の結果、訪れる将来像を理念と呼んでいた。



【これから】

目指すべき将来像(理念)があって、将来像の実現に向けた考え方(指針)に沿い、指針に基づいた目標を定めて具体的な行動を起こす。



2 / 理念(目指すべき将来像)

DESIGN NEW MARUMORI つくろう、あたらしい日常を。

誰かに与えられるまで待つのではなく、みんなで考えて、つくる。
自分で行動することで夢の実現を目指す。
そんな人たちを全力で応援します。

- 「つくろう」は、町民が将来に希望を持ち、暮らし続けるために必要な一人ひとりの「自分たちが丸森をつくっていこう」という、強い思いを表現しています。
- 「あたらしい」は、これまでの丸森を大切にしながらも、新たな取組や工夫を含めてこれからの丸森が「こうすればもっと良くなる」、「少しずつ前に進める」という、前向きな行動を表現しています。

3 / 指針(将来像の実現に向けた考え方)

指針1 安心して日々を過ごせるあたらしい環境を、つくろう

住みたいが離れざるをえない状況をなくすための方法をあらゆる方向から共に考える。

指針2 故郷への誇りを育てるあたらしい習慣を、つくろう

故郷を想ってもらうための習慣をつくるという観点からの取組を共に考える。

指針3 夢や憧れへ挑戦できるあたらしい機会を、つくろう

どこにいても挑戦できるという可能性を信じる人を増やす機会を共に考える。

4 基本目標（指針に基づいた目標）

目指すべき将来像の実現に向けて、3つの指針に基づき、次の6つの基本目標を設定し、10年間取り組んで行くこととします。

1 地域づくり・賑わい

自らが地域に関わり、その価値を再認識することでシビックプライド（※）を高め、多様な主体が一体となって社会資源を最大限に活用します。

町民の社会参加を促進し、協働によるまちづくりのもと互いに助け合う温かなコミュニティを育てます。

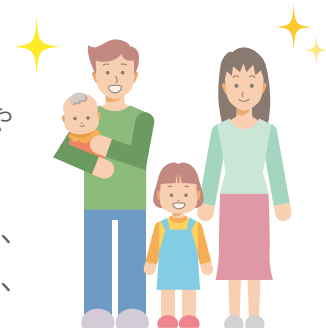
また、多文化共生による新たな町の価値を生み出し、賑わいあるまちづくりを追求します。



2 子育て・教育

安心して子育てができるよう、切れ目のない支援で子育てしやすい環境づくりを進めます。

また、学校教育の充実をはじめ、あらゆる世代の学びを支援し、生涯学習・文化・スポーツ活動の推進と歴史・文化の継承に努め、未来へ挑戦する機会の創出を図ります。



3 暮らし・生活環境

町民の豊かな暮らしを支えるため、地域公共交通の充実やインフラを適切に整備し、安全で安心な日常をつくります。

また、恵まれた自然環境を次代へ継承していくため、環境保全や防災意識の向上に努め、災害に強いまちを目指します。



10年後の目指す姿

4 健康・福祉

自分の健康に関心を持ち、生涯にわたって心身の健康を保つため、健康寿命の延伸を目指した環境づくりを進めます。

また、誰もが住み慣れた地域で、自分らしくいきいきと暮らせるよう、全世代が支えあい、協力し合える地域を目指します。



5 しごと・産業

一人ひとりがいきいきとした豊かな暮らしを実現するため、自然や歴史、文化、地域性を活かしながら、働きやすい、働きたいと思う環境づくりを進めます。

そして、町民が未来に向かって挑戦することを全力で応援するとともに、持続可能な「しごと・産業」を町民と共に創造します。



6 行政経営

行政サービスを持続的に提供するため、今後の職員数の減少を見据え、人材育成に力を入れるとともに、デジタル技術を最大限に活かし、民間の力や近隣市町との連携による事業の省力化を進めます。

また、安定した財源の確保、効率的な資源配分を実現し、無駄のない健全で安定した行政経営を行います。



※「シビックプライド」とは…町民自らが自分たちの地域に誇りと愛着を持ち、自分自身が主体的に地域に関わり地域を良くしていこうという想いや意思を表現したもの